

YIA 会員だより 2025 年 9 月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第 249 号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【9 月以降の活動予定他】

◎国際理解講座：「スペイン巡礼 800km ひとり旅」

日時：9 月 20 日（土）10:00～11:30

場所：文化研修センター研修室 5

◎外国人お遍路ガイド

第 32 回 9 月 1 日（月）10:00～11:30

第 33 回 9 月 20 日（土）13:00～14:30

◎国際理解講座：「在住外国人の動向と多文化共生」

日時：9 月 27 日（土）13:30～14:30 講師：萩森

場所：文化研修センター研修室

◎第 6 回理事会：上記と同日 15:00～16:00 同場所

◎浴衣着物着付け体験会

日時：10 月 5 日（日）13:00～16:00

場所：場所：文化研修センター 和室

◆「そば打ち体験交流会」に参加して 南部 博之

8 月 3 日（日）13 時～15 時に国際交流クッキング

「そば打ち体験交流会」を川島公民館で開催しました。

定員 20 人を超える 29 人（講師 1 人、外国人 10 人、YIA 9 人、一般 9 人）が参加しました。講師に「阿波恵の会」の田村精二さんを迎え、日本語教室の外国人や地域の人たち、YIA の会員と一緒にそば打ち体験をし、美味しい信州そばを食べることができました。

5 班に分かれ、「失敗しない二八そばの打ち方」というマニュアルを参考に、講師の田村さんが、①準備、②水回し、③練り、④地延し、⑤本延し、⑥たたみ、⑦切り、⑧ゆで、⑨洗い、⑩盛り付けの各工程を丁寧に説明し、そば打ち体験をしました。



「阿波恵の会」の杉原さんも指導してくれました。そば粉 8 割、小麦粉 2 割、水を混ぜ、しっかりこねていくと生地が出来上がり、包丁で切るとそばができました。そばをゆがくコツも教えてくれました。

班ごとにそばを盛り付け、和室でいただきました。田村さんから信州そばの説明もありました。一緒に作り

ながら外国人との交流もでき、有意義な時間を過ごすことができました。

◆「一夜限りの鴨島阿波踊り大会」に初参加

黒瀬 久美

今年 5 月に吉野川人材育成支援協同組合に着任しました、地域おこし協力隊の黒瀬です。8 月 16 日に開催された鴨島の阿波おどりに同期の伊藤和子さんと一緒に初めて参加しました。

吉野川市国際交流協会は、吉野川市の市役所連と合同で阿波おどりに参加しています。今年は市政 20 周年記念として制作された映画「道草キッチン」に出演している俳優の金井浩人さんが市役所連に加わっていました（写真を撮れなかったのが悔やまれます）。

今年の参加者の顔ぶれは、技能実習生や特定技能生を中心としたインドネシア、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの方々と、ボランティアで国際交流協会と関わりのある日本人合わせて 53 名です。

本会場となる駅前中央通りに近づくと、有名連の踊



りを見て、「あ、ワンピースだ！」と、嬉しそうにしていて、本場の連



のカッコいい、揃った踊りに皆釘付けになりました。前日まで練習はなく、当日集合して貸し出されたハッピー、ハチマキ、足袋姿に着替えたのち、20分ほど練習したのですが、若い元気なメンバーが揃っているので、「ヤットサー、ヤットサー」「ヤットヤット」と覚えてたの掛け声を出しながら楽しそうに踊ったり、自撮り写真を撮るをたくさん撮ったりしていました。

私達の連は17:30スタートして15分ほど踊り、中休みをはさんで18:30に二回目を踊りました。中休みの際には、YIAから飲み物など水分補給の差し入れをしていただき、元気を回復することができました。

二回目開始前の待ち時間には、有名連の方々と一緒に写真を取ったりして、実習生メンバーが始終楽しそうにしていたのが大変印象に残っています。

この春に南大阪から徳島にやってきた私には、徳島県民の祭りにかける情熱は、有名な岸和田のだんじり

祭りに命をかける泉州人に通じるものがあるなと感じました。ワクワク感や、祭りに抱いている熱気がとても高いですね。



◆徳島県・市町村国際交流協会等連絡協議会(総会)に会場参加 萩森 健治

8月5日午後、表記総会と「徳島県外国人相談支援ネットワーク会議」との合同会議が、TOPIA 会議室で開催されました。今回は「多文化共生社会の形成に向けた取組」と題する議題で、会場参加とZoomのハイブリッド形式で行われ、出席者は両組織あわせてなんと77



名の大会議となりました。YIAからは、瀬尾会長はZoom参加、私(萩森)は会場参加しました。

事務局は、徳島県生活環境部と県国際交流協会(TOPIA)です。外国人相談支援ネットワークからは、行政監視相談センター、高松入管、徳島地方法務局、労働局など国の行政機関、県内市町村の総務課や教育委員会、徳島県の行政や教育委員会、弁護士会、行政書士会、医師会など64団体が参加。市町村国際交流協会からは、徳島市(TIA)、YIAなど19の国際交流協会が参加しました。

会議では、多文化共生社会の形成に向けて、以下の情報提供がありました。

- ① 県内在住外国人の動向・外国人受入の概況
- ② 外国人相談支援の現状と展望
- ③ 国際交流協会や日本語教室の団体の活動紹介
- ④ 各構成員からの情報提供、提案事項など

TOPIAからは、①②について国の多文化共生施策の紹介、県内の在住外国人数の推移、国別・資格別人数、外国人受け入れに対する雇用政策、人材研修、人材育成・定着施策、消費者教育、多言語化の充実などについて紹介。YIAを始め、各国際交流協会からは、協会の概要、最近の活動内容、現状の課題、今後の展望などをパワーポイント等の資料で各2分ほど報告しました。

「多文化共生社会の形成に向けた取組」と題する会議でしたが、多くの団体がそれぞれ短い時間で活動概要などを紹介しただけで、今後どのように取り組むのか、各団体の役割は？といった一番大切な課題について討論する時間がなく、消化不良の会議でした。